

視聴覚教育

NO.327

発行日

18.11.8

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

「シリコンムービーカメラ」
記録媒体にメモリーカードなどのフラッシュメモリーを利用したデジタルビデオカメラのこと。ハードディスクやDVDなどに記録するカメラに比べ、軽量、コンパクトで、記録の失敗や故障が起こりにくい、容量が少ないため、記録時間はより短くなる。

視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部研修部

学習情報部研修部では、平成18年7月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」の三項目である。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育(第38号)』に掲載されるが、ここではその概要を述べる。

利便性や汎用性の面から、ここ数年でデジタル化が急速に進展し、「購入を希望している機器」の上位は、ほとんどデジタル機器が占めた。そのため、現状の保有状況を把握し、今後の機器購入の目安とするため、主なデジタル機器の1校あたりの平均保有数を出してみた。

(表1)

平成16年度と比較すると特にDVDプレーヤーの増加が顕著であることが分かる。ビデオ教材はまだVHSが主流といえるが、DVDメディアもかなり普及してきたことを示している。頭出しが容易であるなどの利便性に加え、HD

主なデジタル機器の平均保有数【表1】

機器名	小学校	中学校	小中平均
DVDプレーヤー	1.4	4.5	2.1
DVDレコーダー	0.3	0.9	0.5
デジタルビデオカメラ	2.8	3.7	3.0
デジタルスチルカメラ	21.5	25.1	22.4
MD付ラジカセ・コンポ	5.4	5.3	5.4
ビデオプロジェクター	2.1	2.1	2.1

パソコン対応のもの

(単位 台)

平成16年度との比較(市内合計数)【表2】

機器名	H16	H18	伸び
DVDプレーヤー	35	149	4.3倍
デジタルビデオカメラ	117	207	1.8倍
デジタルスチルカメラ	1178	1548	1.3倍
MD付ラジカセ・デッキ	207	371	1.8倍
ビデオプロジェクター	91	143	1.6倍

パソコン対応のもの

(単位 台)

D付きDVDレコーダーで簡単に録画やDVDの作成ができるようになったことが要因として考えられる。その他のデジタル機器は、およそ二倍弱程度の増加であった。デジタルビデオカメラやビデオプロジェクターは、各校に最低数

は配備が完了した。(表2)

次に「購入を希望している機器」では、デジタル一眼レフカメラ、大型カラープリンタ、外付けのドライブ(HDDやDVD-RW)の要望が多い。「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」では、HDD+DVD+VHSのトリプルデッキやネットワークHDDが多かった。今後の備品購入や行事等での機器利用において、不足分を借用する場合などの参考にしていただきたい。

「視聴覚あれこれ」

オアシスプロジェクトについて

このプロジェクトは、NHKによって制作された教育用コンテンツを、全国の小・中学校の希望校に無料配信する3年間のプロジェクトである。

例えば、サナギから蝶になる瞬間やトンボの産卵など、実際には観察が難しい貴重な映像も、オアシスなら、より高画質な映像で見ることが出来る。コンテンツも学習指導要領に基いて作られているため、教科書に沿って利用できる。

この実証実験プロジェクトには岡崎市立の全小中学校が参加できる。

各学校の学習情報主任に参加利用の手引きやパスワードなどの文書が配布されたので、積極的に参加と活用をお願いしたい。

なお、学校登録及び各教員が3週間以内に個人で登録しないと利用可能とならない。



「実践報告」

携帯端末機を活用して

岡崎市立藤川小学校 本田辰美

本年度、校外学習に今後活用が期待される携帯の活用を試みた。今年導入したものは、電話はもちろん、インターネット、GPSを利用して位置情報が入手でき、デジタルカメラとしても利用できる。さらに、無線で校内LANに接続可能なものである。

実践した授業は、3年生の総合学習である。

秋に花をつける草花を班ごとに学校周辺で見つけ、調べる活動に利用した。植物の名前や採取場所、植物の特徴など写真をつけ、その場で書き込み、ブログを使って自分のフォルダに転送するという授業である。植物の名前を調べる方法として、学校のパソコン室に待機している職員と電話とブログを使って、電子図鑑を使うことができた。今回、児童は入力には、タッチペンで行なったため、戸惑う場面はなかった。それよりも、授業はとても楽しく、いろいろな植物が見つけれられたことがたと感想に書いている。



今回、初めてこの機器を利用した授業に、積極的に取り組んでくれた教員に敬意をあらわすとともに、今回の授業を出発点にさらなる活用につなげていきたいと考えている。

「レッツトライ」

「グローバルアース」で地理の学習を！

～身近な地域から世界旅行まで～

身近な地域から、今まで行ったことのないよなはるか遠い世界の各地まで、「グローバルアース」を使えば、たちどころに見ることができ、小学生ならば、自分たちの学区から、岡崎市、愛知県、中部地方、日本というように、幅を広げていったり、他の地域と比較しながら違いを発見していったりしたらどうだろう。また、平野と河川の関係や、都市の様子などを調べることもできる。

中学生ならば、世

界の各地に目を向け、大陸や山脈、熱帯雨林や砂漠、扇状地や三角州などの自然の様子を見たり、京都や札幌のような暮盤目状の都市があれば、ローマやパリのような放射状の都市もあることを見つけてみたりしたらどうだろう。子どもたちは、思い思いにたくさんを発見するだろう。



ぜひ、3Dソフト「グローバルアース」(無料

版) earth.google.co.jp をダウンロードして、子どもたちに身近な地域から世界へと目を向けさせたい。

(山中小学校 学習情報主任 富田 好己)

ライブブリーだより

子どもビデオ教室終了

今年度も、子どもビデオ教室が計5回開催されました。六名小・藤川小・羽根小・六ツ美北部小・井田小で、のべ百人以上の小学生が参加しました。デジタルビデオカメラで撮影し、ノートパソコンを使って編集、計40本のすばらしい作品が制作されました。

来年度も開催する予定です。多くの小学生が映像制作にチャレンジしてくれることを期待しています。

第4回ふるさと岡崎

メディアコンクール作品募集

のお知らせ

今年度の「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品募集の受付が、11月20日から始まります。3つの部門に多くの作品の応募をお待ちしています。ぜひ、ご参加ください。

第4回 ふるさと岡崎メディアコンクール
地域に密着した皆さんの自主制作作品を募集します。

募集期間
平成18年11月20日(月)～12月8日(金)
平日: 午前9時30分～午後5時15分
土曜日: 午前9時30分～午後5時30分

応募先
岡崎市視聴覚ライブラリー
〒444-0601
岡崎市宮生東1丁目3番地1
(6名小4F) 藤川小(4F) 羽根小(3F) ワークスペース
TEL 0564-23-6750

募集部門
① 生涯学習部門
② 学校教育教材部門
③ 児童生徒作品部門

テーマ
自由(生涯学習の学習教材又は学校教材となるもの)

利用メディア
ビデオテープ S-VHS VHS Hi8 Hi8i デジタル DV等
7インチメディア FD CD MO DVD等

主催 岡崎市視聴覚ライブラリー